

【団体ヒアリング】

意見内容	
1	町民の防災意識は、現状充分ではない。家庭防災の整備や未設置の地区に自主防災会を立ち上げるなど、町全体で防災意識を底上げする必要がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の負担が大きく、執行部の引き受け手が少なく、会員の減少につながっている。 ・団体同士をつなぐ場を設けてもらいたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体とも、活動制約による後継者不足が感じられた。 ・町民全体が参加できるような催しを開催してもらいたい。
4	報告書に団体名が記載されていないため、理解がしにくい部分があった。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークで活気的で、話題になる取り組みを実施している団体がいれば、町を象徴する活動となったり、町と協働することで大きく変わったりするのではないかと。 ・既存の活動団体は会員の高齢化や会員数の減少など苦勞されている団体が多いが、これは町に限らず他の地域にもある。 ・地域内外の活動の成功例を参照し、他の地域の活動から学ぶことが必要。 ・活動団体が自ら学び、打破していくことが一番であるが、限界もあるため、役場こそが力を貸すことも考えてもいいのでは。 ・地域を巻き込み、世代を超えて人がつながり、新しい活動が生まれるような地盤づくりが必要。 ・大治町に住めばこういうことができる、とった若い世代が期待し、夢を持つことができる大治町独自のまちづくりができると良い。 ・例えば、新しいことをしたいと思う人材を発掘し、自治体と協働で地域を盛り上げる団体に対してサポートできるような仕組みを作ること。
6	防災、防犯、教育など様々な分野における、町民のまちづくりへの参加が望ましい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者までの意見が広く聞けており、良い。 ・どのような理由でこれらの団体を選び、町として38の団体数からの回答にはどう手応えを抱いたのか。 ・どこかの機会での結果を広く、分かりやすく町民に共有し、共に課題を考えていきたい。

【基本構想素案】

意見内容	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・P34 基本目標1について まちづくりの優先第一目標は、町民の生命・身体安全確保である。安全安心なまちづくりの確立のため、防災を始めとする人命に関係する危機管理体制の確立・施策が先決です。 ・P35 基本目標4 施策4-3について 人口増に伴う、住環境の快適性・利便性と相反し、空家・空地等も増加傾向にあり、安全・環境面が危惧される。住環境等の抜本的施策も不可欠である。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ともに”つなぐまちづくり”を!! 行政と住民が一体になれるにはどうすればよいのか?考えています。 まず伝えましょう!!
3	<ul style="list-style-type: none"> ・農業支援を、するのであれば現在の税金に問題があるのでは ・文化意識が少ないのに驚きました
4	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次には緑住ゾーンがありましたが、第5次にはなくなっています。緑の多い町への対策も含めたほうが良いと思います。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、町が直面するであろう問題人口の減少、少子高齢化)に危機感をもち、どう対応するのかを考えることはもちろん大切なことだと思うが、今、大治町が持てるメリットをどう生かしていくかという事を考えることも必要ではないか。 ・今後、大治町が目指すべきは、この先も、若い子供を持った世代に選ばれる町になることだと思う。そのために、町の売りをどうすべきか、未来に向けて、何に投資をするか(力を入れるか)ということをもっと話し合い、具体化する必要があると思います。 ・一方で、歳出が増えている部分(医療費負担など)については、どう減らしていくかを具体的に考えていくことも大きな課題だと思います。 ・大治町の魅力づくりの中心は何か。アクセスの良さに安住していいのか、とふと疑問に思いました。都心へのアクセスの良さは、もちろん町のいい部分の一つだと思います。それ以外に何かあってもいいのではないだろうか。 ・例えば、ゾーニングに、できればもっと老若男女が集えるような「集客ゾーン」あるいは「パークゾーン」というのか(名称は今はいまいか)、人々が集まる、集えるようなゾーンがあってもいいのではないか。 ・そういったエリアでは、Wi-Fiを自由に使用できるようにして、若者や子供をもった母親が利用でき、高齢者も日ごろの健康を維持するために利用でき、子供達が遊べ、防災や避難所にもなり、自然と老若男女が集まり、かかわりが生まれるような場所づくりをおこなうことがあるといいのではないか。 ・他に、具体的に何を想定しているのか、と疑問に思う点があつた。例えば、生活者が将来にわたって住み続けたい町とはどういうまちなのか?「担い手づくり」とあるが、それは具体的にどういうことか?など。

6	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化問題（p5）、脱炭素社会のまちづくり（p35）といったキーワードが出てくるが、これらの課題をどういった方向性の施策で対処するのが今回の基本構想素案からは見えてこない。 ・基本目標4（p35）の「コンパクトなまちである大治町の特徴を活かして、道路の整備・補修等快適性・利便性・安全性の向上を図り、持続可能な都市構造を図ります」と記述されているが、「道路の整備・補修等快適性・利便性・安全性の向上を図る」ことがなぜ「持続可能な都市構造を図る」ことにつながるのかよくわからない。 ・また、コンパクトなまちである大治町の特徴を”どう”活かしていくのかがよくわからない。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想のまちの将来像に「大治町を選び、・・・大治町で暮らし続けたい」とあります。大治町は名古屋駅にも近く、交通の便が良いなどの地の利があり、暮らしやすいことから今後も内外の人々が集まり発展を続けて行かれることが期待されます。そのような利便性に加えて、町民のみなさんが持つ、大治町への思い、愛着、誇り（「シビックプライド」とも言うそうですが）を、おもに若年層のみなさんや他所から転入された方にも知ってもらい、できることなら受け継いでもらえたら、将来の街づくりの基礎のひとつになるのではないかと思います。 ・大治町ならではの伝統・歴史・文化をそれとなく伝えられる仕組みがあるとよいのではと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ○つるし飾り、大治太鼓などの伝統・文化 ○明眼院、自性院、佐屋路（尾張名所図会、尾張藩の関与）など大治（及び海部地域）ならではの歴史（ストーリー）の存在
8	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標はそれぞれもう少しコンパクトに。ともにや、まちがダブリ感があり、改善できそう。5つを3つにしても良いと思う。とにかく、キャッチで分かりやすく。 ・一部の町民が生産緑地制度についてのセミナーを開催。現在のうちから住宅地などへの転用が急加速する中、同制度を求める声にはどう向き合い、計画にも農地の保全をどのように行っていくかも盛り込むか否か。